

5月24日(土)開催 オンライン座談会のご案内

“働きやすさ”と“働きがい”が両立する教職、職場へ！ 働き方改革と教員採用の これからを考える

VIEWnext 教育委員会版の特集テーマと連動して開催しているオンライン座談会。今回の座談会のテーマは「働き方改革と教員採用」です。教職を、学校を、長時間労働があたり前ではない、働きがいのある職業・職場にするためには、どのような働き方改革が求められているのか。そして、そうした職業・職場を目指していることをどのように伝えていけば、質の高い教員採用が実現するのかを、特集でご紹介した教育委員会の教育長や、連載コーナー「教育長の視点」に登場した教育長とともに考えます。

登壇予定者



柳橋常喜
やぎはし・つねき
茨城県
教育委員会
教育長



小花高子
おばな・こうこ
東京都
葛飾区教育委員会
教育長



福本 靖
ふくもと・やすし
兵庫県
神戸市教育委員会
教育長

モデレーター



庄子寛之
しょうじ・ひろゆき
ベネッセ教育総合研究所
教育イノベーションセンター
主任研究員

開催日時 **2025年5月24日(土) 15:00 ~ 16:30**
形式 **オンライン (ZOOM Meeting方式)** 参加費 **無料**
主催 **ベネッセコーポレーション VIEWnext 編集部**
対象者 **教育長、または教育長に準ずる方**

プログラム(予定)

- 3つの教育委員会(茨城県/葛飾区/神戸市)の事例紹介
「働き方改革で最も注力していることは何か」
- パネルディスカッション
「今後求められる働き方改革とは？」
「教育委員会が教員志望者に向けて発信すべきメッセージとは？」

*オンライン座談会実施後のアーカイブ提供はございません。

*お申し込みをされた方に、詳しい参加方法をご案内します。

問い合わせ先 VIEWnext 編集部 view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

*プログラムの内容は変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

*本オンライン座談会へのご参加には、スマートフォン・タブレット・パソコンのいずれかが必要です。接続にかかる通信費用は、参加される方のご負担となります。

参加申し込み方法

右記の2次元コード、
または下記URLから
お申し込みください。



[https://enquete.benesse.ne.jp/
forms/o/we778dde9f/form](https://enquete.benesse.ne.jp/forms/o/we778dde9f/form)

参加申し込み締め切り

2025年5月16日(金)

VIEWnext 教育委員会版 2024年度 Vol.3 の冊子をお持ちでない方は、
裏面に記載している2次元コードから各記事にアクセスし、内容をご覧いただいた上で、オンライン座談会にご参加ください。

VIEWnext 教育委員会版 2024 Vol.3 発刊のお知らせ

働き方改革を 教育委員会のリードで進める 3つの自治体の先進事例を掲載 ～施策立案にご活用ください

文部科学省「教員勤務実態調査（2022年度）」の結果から、教員の平日の実質的な労働時間は、2016年度調査に比べて約30分間減少していることがわかりました。学校の職場環境をよりよいものにするためには、教育委員会がリードする働き方改革が重要になります。ベネッセコーポレーション発行のVIEWnext教育委員会版2024年度Vol.3の特集では、教育の質の向上と業務改善を両立する施策を実行している3つの自治体の事例をご紹介します。



VIEWnext 教育委員会版とは？
全国の教育委員会に向けて、ベネッセコーポレーションが年3回程度発行している教育情報誌です。本誌は、教育総合情報サイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。

各記事は、教育総合情報サイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。各2次元コードからアクセスしてください。

特集 教育委員会が真にリードする働き方改革 —その実現に必要な視点と方策—

業務の削減や効率化を
今以上にどう図ればよいのか？

東北大学大学院 青木栄一教授の提言

業務を「自律的」と「他律的」に分類して捉え、削減や分担をして負担軽減を図る視点を提示。部活動顧問とストレスの関係も解説しています。



整備したシステムを、
業務改善に活用しやすくするには？

東京都葛飾区教育委員会の事例

校務支援システムを効果的に活用できるよう、システム刷新時に活用ルールを設定。学習支援ソフトの新機能は先行導入校の実践を通して広めています。



ICTを活用した授業改善を、
外部人材とどう連携しながら進める？

兵庫県宝塚市教育委員会の事例

授業改善にICTを有効活用するため、研修等を充実させている宝塚市。教員の負担増にならないよう、ICT支援員との連携を積極的に推進しています。



中学校の部活動の地域移行を
推進するポイントとは？

兵庫県神戸市教育委員会の事例

学校の現状と子どものニーズを踏まえ、2026年度に全市立中学校の部活動を終了し、「KOBE◆KATSU(コベカツ)」を開始する神戸市。その全貌に迫ります。



連載コーナーも
ぜひご覧ください

教育長の視点～その先にあるもの～ダイジェスト

働き方改革や教員採用などの施策について、茨城県教育委員会の教育長と、鳥根県教育委員会の教育長・松江市教育委員会の教育長にインタビュー。



教委の新規事業実現までのストーリー

学習支援ソフトウェア、読み書きの学習支援のICT教材、ICT支援員を同時に導入した新潟県三条市。新たな施策は子どもの自律的な学びを力強く後押ししています。



教育長を対象としたオンライン座談会を開催！ 詳細は裏面へ

